

EDIUS[®] Elite/Pro 7

EDIT ANYTHING

リリースノート

Software Version 7.50b228 (2015 年 10 月版)

Windows 7 でご利用になる場合の重要なお知らせ

EDIUS 7 ではビデオ編集用ハードウェアのドライバーインストールに SHA-2 ハッシュアルゴリズムの証明書を使用しています。Windows 7 で SHA-2 ハッシュアルゴリズムを使用するためには、マイクロソフト社のダウンロードセンターよりセキュリティ更新プログラムをダウンロード、インストールしてください。セキュリティ更新プログラムのインストール後に EDIUS 7 のインストールを行ってください。

対象ビデオ編集ハードウェア

- HDSPARK
- STORM MOBILE
- 当社製ビデオ編集ハードウェアを搭載するターンキーワークステーション (HDWS/REXCEED シリーズ)

*ご利用になる OS が Windows 8/8.1 の場合や、サードパーティー製ハードウェアを使用する場合は該当しません。

SHA-2 ハッシュアルゴリズムの証明書を利用可能にするには、2 つのセキュリティ更新プログラムのインストールが必要です。これらの更新プログラムは以下の番号順にインストールしてください。

1. [Windows 7 for x64-Based Systems 用セキュリティ更新プログラム \(KB3035131\)](#)
2. [Windows 7 for x64-Based Systems 用セキュリティ更新プログラム \(KB3033929\)](#)

NOTE: 本バージョンよりセキュリティ更新プログラムがインストールされていない場合は、インストール中にセキュリティ更新プログラムのインストールを促すメッセージが表示されて、インストールが中断されます。メッセージが表示された場合は、セキュリティ更新プログラムをインストールしてから、再度 EDIUS のインストールを実行してください。

更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正しました。

- プロジェクトフォルダーへ転送済みのクリップを編集する際、クリップの元の場所にあるプロキシデータへアクセスする。
- タイムラインの内容が破損したプロジェクトファイルを読み込んで操作すると、EDIUS が強制終了する。
- P2 AVC Ultra シーケンスクリップがオフラインクリップとして認識される。
- ASF ファイルがプロジェクトファイルに含まれていると、EDIUS プロセスが終了しない。
- Title Insertion Mode で、ON ボタンをクリックする度に音声ノイズが発生する (Elite のみ)。
- XDCAM クリップが SxS カードから読み込みできない。
- Canon XF-AVC Model B クリップが貼り付けられたタイムラインを、スマートレンダリングを使用して AVC-Intra ファイルへエクスポートすると EDIUS が強制終了する。
- Title Insertion Mode でプロキシモードが使用できない (Elite のみ)。
- XDCAM Professional Disc からクリップの読み込みができない。
- 時差編集クリップを含むタイムラインを K2 SAN へエクスポートすると、エクスポートに時間がかかる (Elite

のみ)。

- プロジェクトファイル保存時に EDIUS が強制終了する。
- K2 で作成された AVC-Intra MOV クリップが読み込めない (Elite のみ)。
- エクスポートした K2 クリップの長さが 0 になる (Elite のみ)。
- エクスポート時にオフラインクリップの警告が表示されない。

更新履歴 (7.50.191 と本バージョンの間に修正した履歴)

- XDCAM XML ファイルの読み込みが遅い。
- クリップをシーケンス化して解除すると、不要なクリップマーカーが追加される。
- XDCAM Professional Disc からの読み込み中に EDIUS が強制終了すると、EDIUS 再起動後に読み込み作業を継続できない。
- VisTitle クリップを Bin 上で HQX ファイルへ変換すると映像が異常な状態になる。
- タイムラインシーケンスを切り替えると、挿入/上書きモードが初期化される。
- タイムラインを DVCPRO HD MXF もしくは AVI へエクスポートすると、タイトルテキスト部分にブロックノイズが表示される。
- AVC Ultra LongG シーケンスクリップを再生すると、ソースタイムコードが表示されない。
- 特定の MP3 ファイルが読み込めない。
- 時差編集ファイルをプレーヤーウィンドウで再生すると、Current TC が常に 0 表示になる。
- AVC MXF クリップの再生が停止する。
- サークルトランジションを適用したタイムラインを再生すると、トランジション適用部分で線状ノイズが表示される。
- K2 SAN へコピー中の XDCAM HD 422 クリップが読み込めない (Elite のみ)。
- K2 クリップをプレーヤーウィンドウにロードすると、EDIUS が強制終了する (Elite のみ)。
- XAVC クリップが置かれたタイムラインを、スマートレンダリングを使用して K2 AVC Intra クリップへエクスポートすると EDIUS が強制終了する (Elite のみ)。
- GV STRATUS から EDIUS へクリップを、ドラッグ・アンド・ドロップを使用して読み込むと、EDIUS がフリーズする (Elite のみ)。
- トランスフォームエフェクトを適用したクリップを再生すると、黒フレームが表示される。
- 「登録と転送」メニューで読み込んだ XDCAM クリップの登録を解除し、転送済みのファイルを削除すると、同じクリップをソースブラウザーから Bin に再登録できない。
- アプリケーションウィンドウのレイアウトが保持されない (Elite のみ)。
- 時差編集クリップを引き伸ばすと、緑色のフレームが表示される (Elite のみ)。
- K2 クリップをソースブラウザーからドラッグ・アンド・ドロップを使用して読み込むと、EDIUS が強制終了する (Elite のみ)。
- タイムラインを可変速再生すると EDIUS がフリーズする。

既知の不具合

スタビライザーの解析がバックグラウンドジョブとして処理される

- 現象 スタビライザーの解析が常にバックグラウンドジョブとして処理される。
- 回避方法 なし。

プロキシファイルを通常のクリップとして認識する

- 現象 Bin でクリップを選択、「プロキシを作成」にてプロキシを作成した場合、その素材を別プロジェクトで読み込むとプロキシファイルも通常のクリップとして同時に読み込まれる。
- 回避方法 なし。

書き出した XAVC S ファイルの再生が途中で停止する

- 現象 タイムラインを XAVC S ファイルとして出力したものをカメラ等で再生すると、再生が途中で停止することがある。
- 回避方法 XAVC S エクスポーターの画質設定で標準、もしくは高速を選択する。

制限事項

最近使ったプロジェクトのリストが初期化される

- 現象 EDIUS 7.32 以前から EDIUS 7.40 以降へアップデートすると、最近使ったプロジェクトのリストが初期化される。
- *リストが初期化されるのは、アップデート後の初回起動時のみです。7.40 から 7.41 へアップデートした場合、この制限事項は適用されません。
- 回避方法 なし。